

## 地元大学の専門性を生かした地域の価値の再評価 ～若者のまちづくりへの参画を促すために～(愛媛県松山市)

### 取組概要

松山市の久谷地区は豊かな里山の自然に囲まれ、四国霊場の札所や遍路にまつわる多くの地域資源が残る一方、市郊外に位置し、人口減少や高齢化、地域コミュニティの希薄化などが課題となっている。

そこで、松山市では、行政と地域まちづくり団体、地元大学が連携し久谷地区の地域活性化のための取り組みを行っている。

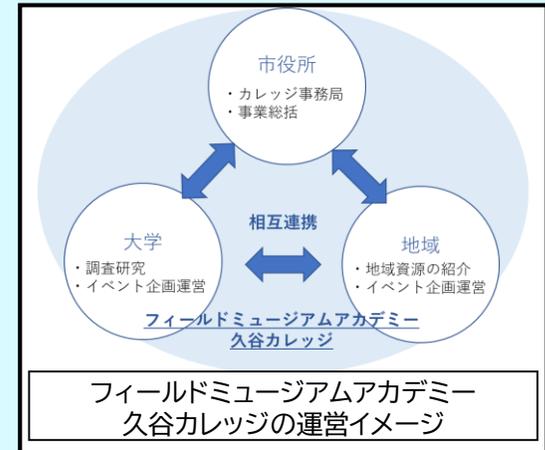
人口 501,670人(R6.1.1現在)

担当 坂の上の雲まちづくり部  
まちづくり推進課



### 取組の効果

- ・大学生が調査・研究した内容を地元中学校で行われた地域巡りや、活動報告会を通して地域住民に伝えることで、新たな気づきを与えることができた。
- ・地元の郷土史家が個人で運営してきた久谷の地域資源を紹介するHPを、大学生の目線でレイアウトの見直しや記事の整理を行いリニューアルしたことで、久谷の魅力を新たに発信するとともに、HPの運営を地元のまちづくり団体へ引き継ぐことができた。
- ・大学生が分析・提案したまちづくりの方向性を、地元住民と共有することができ、新たに策定している地域振興構想の貴重な取組となった。



「久谷地域巡り」で  
大学生が地域資源について説明

### 創意・工夫した点

- ・高齢化が進み、地域に若者が少ないという課題を抱えた地域で、あえて若者を中心に事業を進めた点。
- ・愛媛大学「社会共創学部」という独自性を生かし、文化資源について専門的な知識がある大学生が、地域住民と交流しながら調査・研究を行い、調査結果を活動報告した点。

### 他団体へのアドバイス

若い世代の視点で地域を再評価することは、地域住民の愛着を高めることにも繋がります。  
若い世代と協働し、地域活性化に取り組みましょう。